

サポートルームだより

町田市立小川小学校
サポートルーム拠点校
校長 星 彰
2026年9月30日 No.6

サポートルーム前期個人面談

10月5日より、サポートルーム前期個人面談がスタートします。前期報告書をもとに、学校でのお子さまの様子やご家庭での様子を共有させていただけたらと思います。いただいたお話を今後の指導に生かしてまいります。個別に面談日程の通知を配布させていただきました。お手元に届いていらっしゃるようでしたらすぐにご連絡いただけますと幸いです。

持ち物のおしらせ

11月にサポートルームまつりを予定しています。その際、各個人のお財布の使用を考えています。ご家庭で使用しているお財布を学習でも使用しながら使い方を確認したいため、1つ持たせてくださるようご協力の程、よろしくお願いいたします。

- ・記名（シール・テープ可）
 - ・チャックまたはがまぐちのもの など
 - ・中身は空にして
 - ・10月30日まで
- ★準備でき次第持たせてください★



生活習慣を整える●身の回りの構造化●



○発達障害の子の立ち直り力 「レジリエンス」を育てる本
監修：藤野博 日戸由利 講談社

○「うちの子、どうして片付けられないのだろう？」そのように感じたことはありませんか？環境を見直してみるタイミングかもしれません。子どもにとって、「どこに置けばよいか」「何をすればよいか」が分かりにくいことがあります。物の置き場所を決めたり、ラベルや写真で示したりするなど、見て分かる構造に整えることで、自分で行動しやすくなることもあります。それでもなかなか改善が難しいこともあります。一緒に考えていきますので、ぜひご相談ください。



おうちの環境 チェックしてみよう

- ☐ ランドセルを置く場所が決まっている



- ☐ 学校からのお便りを出す場所が決まっている



- ☐ よく使う物には決まった置き場所がある



- ☐ 箱や引き出しの中身が見て分かる



- ☐ 朝の支度に必要な物が分かりやすくなっている



- ☐ 子ども自身が元の場所に戻しやすい



お子様が「分かりにくそう」「いつも声を掛けている」ポイントを1つつけてみましょう。「こうしたら分かりやすいかな？」「便利かな？」相談しながら決めてみるのもよいですね。

小川小学校ホームページ

活動の様子などを掲載しています

